

## フィンドレー大学月例報告書【9月】

国際文化学科 2年

こんにちは。今回は授業外の出来事や感じたことなどについて書きます。

### ●学校主催のイベント

フィンドレーはのどかな場所ですが、大学や学生が主催するイベントが盛り沢山です。小規模なものを含めると、少なくとも週2回程度あります。学内で行われるものもあれば、バスで学外に行くときもあります。



9月にあったイベントを2つ紹介します。

Cider point（遊園地）…アトラクションの数が多いため待ち時間が少なく、たくさんのジェットコースターに乗ることができました。五大湖の中にあり、景色もきれいでした。



Leadership Retreat（旅行）…希望者が参加しました。ミシガン州のホテルに泊まり、ゲストスピーカーの話を聴き、絵を描き、プールに入り、クリスマスマーケットや動物園に行き、充実した3日間を過ごすことができました。



Cider pointは入園料を払いましたが、Leadership Retreatを含め、ほとんどのイベントに無料で参加できています。学費が高いものの、学生に還元されている機会が多いです。



### ●関わり

日本人留学生（今学期は9人）と特に関わりが深い人たちがいます。日本人留学生の他、アジア出身の学部生や大学院生、日本語を学んでいる学生、異文化に関心がある学生などです。ネイティブの人は少ないです。日本語学部の先生が主催するイベントがあるとみんなで集まります。授業外の時間はその中で特に仲良くなったりと一緒に過ごしています。大学内にあるフリースペースで勉強したり話したりしています。週末は出かけることが多いです。英語力が不十分な私たちにも驚くほど親身に接してくれます。



ネイティブの学生も、留学生に対して寛容な人が多いです。目が合うとニコッとしてくれます。しかし、留学生や多国籍の人がいることが当たり前だからこそ、留学生に興味がない人が多いです。授業と一緒に受けていないため関わる機会が少なく、仲を深めることが難しいです。また、話せたとしてもとにかくエネルギーを消費します。私は日本語でさえも口数が少ない方なので、なかなか苦労しています。しかし、アメリカにいるからにはネイティブの人と関わりたいという気持ちが強く、サークル（クラブ）に参加する、イベントで話しかけてみるなど、自ら機会を作るよう心がけています。話せるとすごく嬉しいです。英語力だけでなく、会話力を鍛える機会になっています。

### ●引っ越し、ルームメイト

8月の報告書に続きます。私は学校のシェアハウスに住んでいます。友達の隣の部屋が1人分空いていると聞き、移動を依頼しました。



ルームメイトは英語教師になるための勉強をしている大学院生です。とても優しく落ち着いているため、部屋に戻るとほっとします。毎日、その日にあった出来事などを話しています。イラク出身で、文化や宗教についての話も興味深いです。昨年始まった中東の戦争や、中東とアメリカとの関わりについての話を聞いた時には、自分がアメリカの良い面に捉われていることや、戦争から目を背けていることに気づかされ、留学を楽しんでいる自分を俯瞰する機会になりました。



### ●自転車

学期末まで学校から自転車を借りることができました。色も形もすごく気に入っています。100ドル前払いし、修理や盗難が無ければ返金されるシステムです。教室に行くときに乗っています。5分くらいです。現地の学生は、車を持っている人が多いです。



### ●気候

10月に入り、気温が一気に下がりました。朝晩は10度を下回っています。これ以上寒くならないでほしいです。



留学生活に慣れてきましたが、アメリカで日常生活を送っていることが幸せだとしみじみ感じます。1日1日、大切に過ごします。